

スズキの財団活動等

公益財団法人スズキ財団

スズキは、1980年より公益財団法人スズキ財団を通じて、研究者の科学技術研究に対する助成活動を行っています。

理念

今日、小型自動車産業は、エネルギー、地球温暖化などの問題が深刻化する中で、省エネルギー、環境負荷低減の自動車の要請など時代の期待に応えるべく、更なる飛躍の時期を迎えようとしています。我々はこのような状況の中で、小型自動車産業が国民のニーズに機敏に対応すべく、さらに一層の努力を続けなければならない必要があると考えております。そのためには関連機械工業のより一層の高度な発展と、優秀な技術者の確保が何よりも大切です。そこで、小型自動車に関連した機械工業の技術開発に関する援助・助成と、これらの分野に携わろうと意欲を燃やす若い人々に対する奨励援助を行うため、スズキ財団は、経済産業省ならびに各方面のご指導とご協力により設立され、活動を続けております。(スズキ財団は、1980年にスズキ(株)の創立60周年の記念事業として、関連企業とともに基金を寄託して設立され、平成23年4月1日、公益財団法人スズキ財団として新たなスタートを切ることとなりました。)

財団の活動

●基礎的・独創的研究に対する助成

環境や情報、制御、材料、医療関連等の技術に関する基礎的・独創的研究に対し、社会発展の基礎を築く研究に助成を行います。これまでに全国の大学・高専・研究機関の研究者933人に、12億5,549万円(2016年4月1日現在)の研究助成を行い、科学技術の基礎研究発展に貢献しています。

●課題提案型研究に対する助成

地球環境の保全やエネルギー資源節約等、早急に取り組まなければならない課題に対し、研究者が知恵を集結し解決を目指す研究テーマに助成を行います。平成15年度より助成を開始し、これまでに「ドライバーと自動車・自動車と自動車の共進化を可能とする高度運転支援システムの開発」等の21件の研究に対し、1億8,112万円(2016年4月1日現在)の助成を行っています。

●研究成果普及助成及び研究者海外研修助成

科学技術分野の基礎的・独創的研究成果の更なる充実・発展を目的として、国内外で行われるシンポジウム・会議等の開催、或いは海外で開催されるシンポジウム・会議への出席等にかかる経費の一部を助成しています。これまでに473件、1億4,716万円(2016年4月1日現在)の助成を行っています。

●海外からの研究留学生に対する助成

静岡大学とハンガリーのブダペスト工科経済大学の2大学間研究者交流協定に基づき、2大学とスズキ財団がタイアップして、平成11年度から行っている事業です。これまでにブダペスト工科経済大学から14人の研究者が研究留学を行いました。その中には国際共同研究開発として進められたものもあります。

●インターアカデミアへの支援

ヨーロッパの8大学と静岡大学が、国際交流活動を行うために、学生と教職員の研究発表を中心にソーシャルプログラムを用いた国際会議(インターアカデミア)を行っています。スズキ財団はそうした活動にも積極的な支援を行っています。



公益財団法人 スズキ財団
平成27年度 贈呈式・技術者交流会



公益財団法人 スズキ財団
平成27年度 贈呈式・技術者交流会



●助成件数と助成金額

- ・2015年度助成件数：62件（2016年4月1日までの累計：1,441件）
- ・2015年度助成金額：7,682万円（2016年4月1日までの累計：16億1,889万円）

公益信託進化学振興木村資生(もとお)基金への支援

病気の原因を解明し健康保持に努めて、楽しく豊かな生活をおくることは、人々の願いでもあります。進化学の研究部門でノーベル賞候補にまでなった、故木村資生博士の研究業績をたたえて、2004年12月、スズキの基金寄附によって「公益信託進化学振興木村資生基金」が設立されました。この基金では、遺伝学分野の研究を行い、大きな研究功績を残された方の顕彰を行っています。

公益財団法人スズキ教育文化財団

スズキ教育文化財団は、2000年にスズキの創立80周年の記念事業として、スズキグループが基金の全額を寄託して設立した公益法人です。

本財団は、静岡県内の高校生及び静岡県内の高等学校を卒業した大学生で経済的な理由で学業に専念できない方や静岡県内の大学に在学する学生で向学心がある方に奨学援助を行い、併せて児童及び生徒のスポーツ及び学習活動並びに外国人学校等に対する支援を行い、青少年の健全育成及び国際交流に寄与することを目的としています。

- ・総資産(2016年3月31日現在)：29億3,719万円
- ・助成総額(2016年3月31日までの累計)：3億2,530万円
- ・奨学金給付(2015年度)：68件(2,100万円)
- ・外国人学校支援(2015年度)：1件(800万円)
- ・静岡文化芸術大学スズキ奨学金への補助(2015年度)：1件(150万円)



奨学生認定証の授与式

日系人学校「ムンド・デ・アレグリア学校」に経営支援

1990年日本の労働力を補う為に入国管理法が緩和され、多くの南米系日系人労働者が浜松市を中心に住むことになりました。学校法人「ムンド・デ・アレグリア学校」(浜松市西区雄踏町)は、この労働者の子どもたちの学校です。2003年個人資金により設立、スズキを含む地元企業60社の支援により、現在まで13年間の学校運営を続けています。

生徒数：幼稚園児から高校生まで230人

(ブラジル(ポルトガル語)系186人、ペルー(スペイン語)系44人)

教職員：ブラジル人14人、ペルー人5人、日本人11人

(2016年7月現在)

言葉の問題から日本の学校に通っても授業についていけず学習不振になったり、日本語も母国語も中途半端(ダブルリミテッド)になったりする子どもたちに「学ぶ喜び」を知ってもらい、日本社会で適応できる人材、ひいては日本と母国の架け橋となるようなグローバル人材の育成を目指している「ムンド・デ・アレグリア学校」。

少子化が課題になっている昨今、人口減少が続く静岡県においてもその解決の一つになりうる人材を育成していることは間違いありません。多文化共生社会を率先する浜松市においてその実践校としてのモデルとなり、立派な日系人2世、3世が育つよう応援しています。

(右の写真)日本の文化と母国の文化両方を大切にしています。

